

令和3年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-6

	実施方針	目 標	具体的な取り組み	
必 須 項 目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるような体制を整えます。	協力事業所や民生委員等と顔の見える関係づくりに努め、課題を抱える高齢者の早期発見、情報の共有化を図る。	①川根地区見守りネットワーク連絡会：年1回 ②民生委員と包括の情報交換会：年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会：月1回
		地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。	しまとれの継続支援と新規立ち上げ支援を行う。また、社会福祉協議会と連携し、歩いて集まることが困難な地域に居住する住民もしまとれに参加できるように働きかける。	①継続支援：7ヶ所（月1回、支援に出向く） ②新規立ち上げ：1ヶ所（身成地区） ③送迎付きしまとれ：山間地1～2ヶ所（地区の選定、地域住民や事業所との連携・相談、しまとれ支援を行う）
			地域活動が少ない地区へ出向き、住民が主体となって取り組める介護予防活動について検討する。	塩本地区懇談会：年1回
			老人会や居場所等で介護予防普及啓発講座を開催し、住民の介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年20回 内容：高齢期の病気、認知症予防、口腔ケア、低栄養予防、熱中症予防、感染症予防、介護保険制度、消費者被害、介護予防体操（コグニサイズ）等
認 知 症 施 策 の 推 進	認知症の理解を深めるための周知・啓発活動を行い、多世代で支え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座：年4回（小中学生等、幅広い年齢層へ働きかけていく） ②認知症予防講座：年3回	
		認知症の方を地域で支える体制づくりをチームオレンジ、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターと共に行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ②チームオレンジちゃのみ定例会：月1回 ③チームオレンジの新規立ち上げ：1ヶ所	
		認知症カフェへ参加し、認知症に関する周知活動及び相談支援を行う。	駅前お茶飲み会：月1回	
選	多職種、多機関とのネットワーク構築	高齢者支援に携わる専門職同士の相互理解、連携体制を構築します。	WEB会議システムを活用した意見交換会や勉強会を企画・開催する。	川根地区医療・介護多職種連携連絡会：年3回 テーマ：①薬に関すること、②外部講師を招いた勉強会、③介護に関すること 参加団体：医療機関(4)、調剤薬局(3)、製薬会社(1)、整骨院治療院(2)、居宅介護支援事業所(4)、通所介護事業所(4)、訪問介護事業所(2)、短期入所介護事業所(1)、特養(1)、小規模多機能型居宅介護(1)、グループホーム(1)

採 項 目	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員との連携強化、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントが行えるよう支援します。	地区の介護支援専門員を対象とした連絡会を企画・開催する。	金谷・川根地区ケアマネ連絡会：年3回 テーマ：①権利擁護、②医療連携、③自立支援型地域ケア会議
	センターの認知度を高めるための周知活動	住民にとって身近な相談窓口となるよう積極的に地域へ出向き周知活動を行います。	高齢者あんしんセンターのチラシを公共施設等に設置、老人会や各種団体へ配布する。 川根小学校の児童に作成してもらった高齢者あんしんセンターのPRポスターを幅広い年代の方が目に付く場所に掲示する。	集会所、居場所、老人会、高齢者学級、しまとれ実施団体、ボランティア団体等15ヶ所へ設置・配布 3月末までに集会所、商店、金融機関、医療機関等10ヶ所に掲示